

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 10 日	
佐賀県知事 殿	
提出者 住 所 佐賀県伊万里市山代町久原 1-5 2 氏 名 株式会社 S U M C O 生産技術本部 九州事業所 事業所長 弘田 成弥 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0955-20-2258 (久原設備管理課)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 1 2 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 S U M C O 生産技術本部 九州事業所(久原)
事業場の所在地	佐賀県伊万里市山代町久原 1-5 2
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	28 電子部品・デバイス・電子回路
② 事業の規模	116,666百万円
③ 従業員数	1,953名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(1)のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙(2)のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	（これまでに実施した取組） ・ ISO14001の目標項目に「産業廃棄物排出量の抑制」を設定して、排出量の抑制に取り組んでいる。 ・ 分別排出の細分化による有価物化の推進を行い、排出量の抑制を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 引き続き、ISO14001の目標項目に「産業廃棄物排出量の抑制」を設定して取組みを継続する。 ・ 引き続き、分別排出の細分化による有価物化の推進を行い、排出量の抑制を図る。 ・ 有効利用の用途を検討して、有価物への転換を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 種類ごとに、保管場所を設けて分別徹底を図っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 引き続き、分別徹底を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） ・廃水処理設備の適正な運転管理により、排出量の抑制を図っている。 （汚泥）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） ・引き続き、廃水処理設備の適正な運転管理による排出量の抑制を図る。 （汚泥）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への処理委託の推進を図っている。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	引き続き、再生利用業者への処理委託の推進を図る。			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)
(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	ガラスくず	金属くず						
	排 出 量	38.670 t	21725.310 t	4102.850 t	0.000 t	0.000 t	278.500 t	231.318 t	13.205 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	ガラスくず	金属くず						
	排 出 量	42.000 t	23428.000 t	4425.000 t	0.000 t	0.000 t	301.000 t	252.000 t	16.000 t	t	t	t	t	t	t

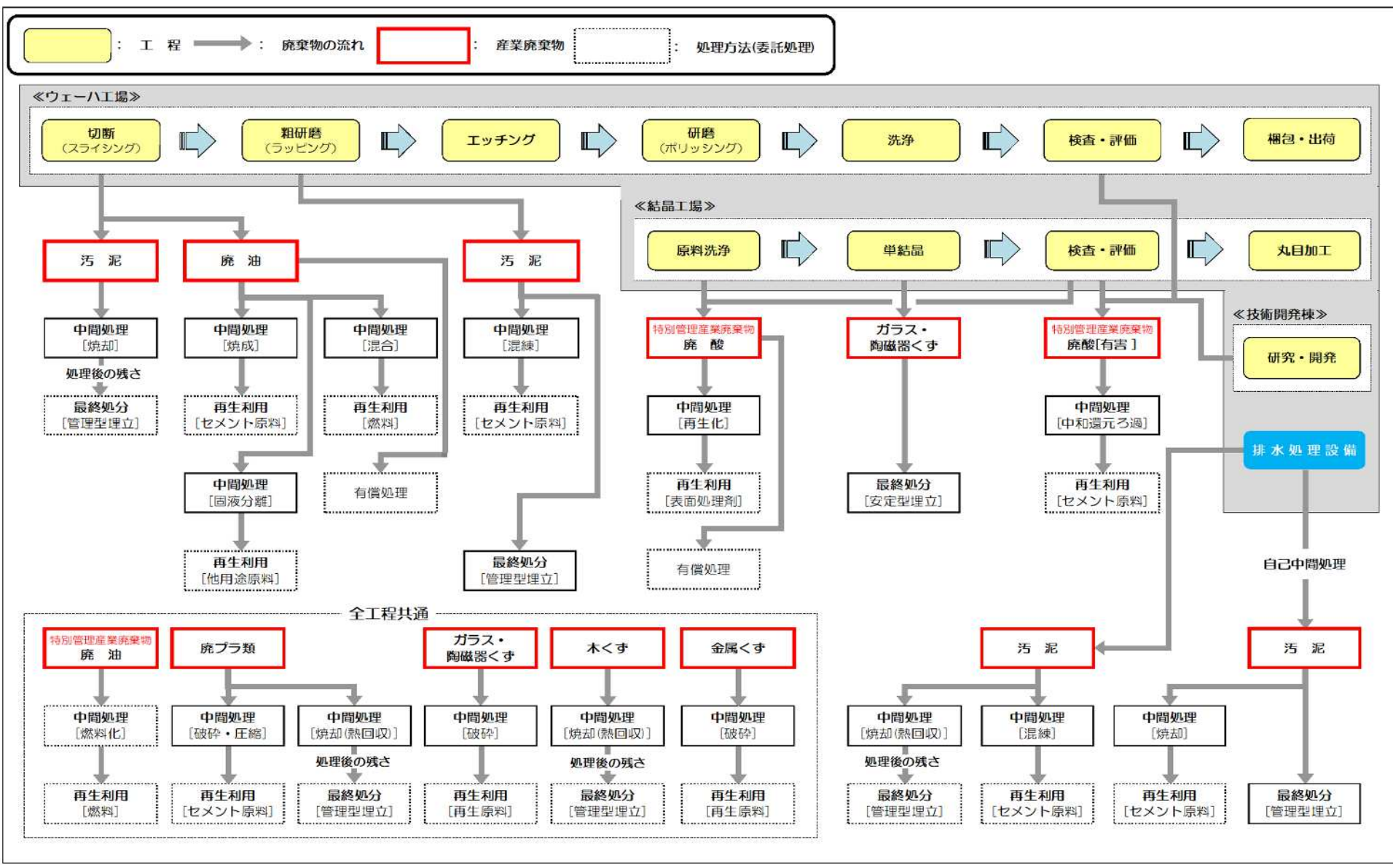
(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項															
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	ガラスくず	金属くず						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	ガラスくず	金属くず						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項															
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	ガラスくず	金属くず						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	17623.700 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	ガラスくず	金属くず						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	19005.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t

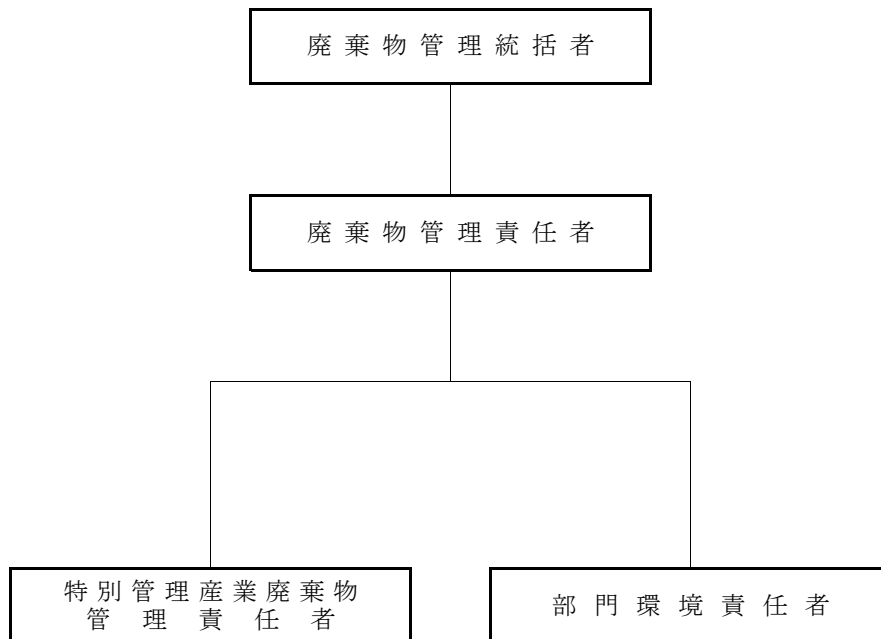
様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)
(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項															
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃ブラ	ガラスくず	金属くず						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃ブラ	ガラスくず	金属くず						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項															
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃ブラ	ガラスくず	金属くず						
	全処理委託量	38.670 t	4101.610 t	4102.850 t	0.000 t	0.000 t	278.500 t	231.318 t	13.205 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	38.670 t	3083.320 t	3350.150 t	0.000 t	0.000 t	278.500 t	230.838 t	13.205 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	38.670 t	3334.660 t	3724.890 t	0.000 t	0.000 t	265.380 t	230.838 t	13.205 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	38.670 t	307.940 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	90.770 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃ブラ	ガラスくず	金属くず						
	全処理委託量	42.000 t	4423.000 t	4425.000 t	0.000 t	0.000 t	301.000 t	252.000 t	16.000 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	42.000 t	3326.000 t	3614.000 t	0.000 t	0.000 t	301.000 t	251.000 t	16.000 t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	42.000 t	3597.000 t	4018.000 t	0.000 t	0.000 t	287.000 t	251.000 t	16.000 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	42.000 t	333.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	99.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t



別紙(2) . . . 管理体制図

廃棄物管理の組織体制



各責任者の業務分担

〔廃棄物管理統括者〕

- ・各サイトの事業部長・工場長・事務所長とする
- ・サイト廃棄物管理に必要な責任者及び技術者を配置し、廃棄物管理の責任と権限を与える
- ・環境役員および環境管理責任者から指揮及び経営資源の用意を受け、廃棄物の削減・再資源化の促進を図る

〔産業廃棄物管理責任者〕

- ・各サイトの廃棄物管理全般を主管する部門の長とする
- ・各サイトの廃棄物主管業務を統括する
(産廃と事業系一廃の主管部門が異なる場合は要調整)
- ・廃棄物の処理に関する重要な情報及び結果は、廃棄物管理統括者及び社内関係者に通知し、必要に応じ社外へも対応する(所管官庁、処理委託先など)
- ・産業廃棄物処理責任者を選任する必要がある場合は、兼務する

〔特別管理産業廃棄物管理責任者〕

- ・特管産廃が発生するサイトで有資格者から選任する(自治体によっては要届出)
- ・特管産廃の管理全般業務(排出状況の把握、処理計画の立案、適正な処理の確保)を遂行する
- ・感染性産業廃棄物は診療所関係者、それ以外は廃棄物管理担当者を選任する

〔部門環境責任者〕

- ・廃棄物を発生させる部門の長とする
- ・自部門で発生する廃棄物の管理責任者とする